

水産庁の直轄事業（フロンティア漁港漁場整備事業）に、コーケン魚礁ブロックが採用されました。

（日本海西部地区漁場整備事業）

山陰沖の日本海の海底、水深－２００～－３００m程度の砂地に人工魚礁を設置し、地域の主要な水産資源であるズワイガニとアカガレイの増殖、保護育成を図るもので、平成２０年度より兵庫県の但馬沖、鳥取県の赤碕沖、島根県の浜田沖の３箇所において工事が開始されています。

1. 兵庫県但馬沖

工事名：平成２０年度日本海西部地区（但馬沖漁場）魚礁製作・据付工事
平成２０年７月製作開始、１０月沈設完了



コーケン魚礁ブロックⅢ型



コーケン魚礁ブロックⅢ型沈設状況



仮置き中のコーケン魚礁ブロックⅢ型



2. 鳥取県赤碕沖

工事名：平成２０年度日本海西部地区（赤碕沖漁場）魚礁製作工事
平成２０年１０月製作開始

3. 島根県浜田沖

工事名：平成２０年度日本海西部地区（浜田沖漁場）魚礁製作工事
平成２０年１２月より製作予定